

いなみ町 議会だより

No.60
2014.1



第4回定例会

議案審議	P2~P3
一般質問6人が登壇	P4~P9
委員会報告	P10~P11
あとがき	P12

平成25年第4回定例会(12月議会)

第4回定例会は、12月4日に開会し、20日に閉会しました。上程議案は、専決処分1件、条例制定・改正7件、補正予算5件、決算認定9件、字の区域の変更1件、動産の購入契約1件の計24件を慎重に審議しました。

職員の再任用に関する取り決めに定めた条例(町の法律)ができました。(全員賛成)

12月議会に日高管内6町で一斉に「職員の再任用に関する条例」を定める議案が提案されました。

この条例は、地方公務員の年金支給年齢が段階的に引き上げられることから、その間の措置として、退職した職員を再任用することができる、とする内容です。

質問

採用方法として、希望すれば、全て再任用の対象になるのですか。

答弁(総務課長)

懲戒処分等がなければ、希望し、条件が整えば採用となります。

質問

退職勧奨(退職を促した職員)で退職した職員も採用の対象になるのですか。

答弁(総務課長)

早期退職者でも特に問題がなければ、対象になります。

「職員の給与に関する条例を改正する議案」が提案され、賛成7・反対4で可決されました。

この条例変更の内容は、55歳以上の職員の給与を抑制するというものです。各職員の評価によって昇給する職員とそうでない職員が発生します。

質問

職員の給与に関する重大な問題ですが、全職員への説明はなされたのですか。

答弁(総務課長)

課長会で何度か議論はありました。国の法

律で定めたものは、やはり準じていくべきであると考え、職員にもこの旨を伝えました。

質問

人事評価制度が導入されていない中で、この条例にどう対応するのですか。

答弁(総務課長)

人事評価制度による評価は実施していませんが、職員の昇給、昇格に関する規則の中で、昇給に該当するか否かについては、町長が別に定めているので、それにより判断します。

印南町保証金返済積立基金条例が撤回されました。

今回提出されたこの条例は、町の普通財産に定期借地権を設定し、貸し付けるために預託された保証金の返済に充てるため、基金を設

質問

基金の処分は、第1条の目的「保証金」の返済にあてるために処分できることとなっていますが、「保証金」は、契約不履行になった場合等の債務の担保として預託されているものと思えます。

この条例では、保証金の返済のみを想定した処分規定ですが、契約不履行となった場合や所在不明等により契約の相手方の意思を確認できなくなった場合等に基金を処分する規定がありません。このような場合、基金に属する現金はどのように処分されますか。

答弁(総務課長)

議案に不備がありません。

◎その後、町長から、議案第81号印南町保証金返済積立基金条例の制定については、議案に瑕疵があったため、議案の撤回請求があり、議長はこれを受理し、議会はこれを許可しました。

一般会計補正予算に対する質疑

質問

雑入、水利権取得負担金還付金209,000円の収入は、水道会計から一般会計へ繰り入れる予算となっています。今回の水道会計補正予算第3号においては、予算科目が繰入金となっていますが、一般会計の収入科目は諸収入、雑入です。会計間で予算科目の整合性が取れていません。

答弁（総務課長）
歳入予算計上科目に誤りがあります。

◎その後、町長から、一般会計補正予算（第8号）については、歳入予算計上科目に誤りがあったため、議案の撤回請求があり、議会はこれを許可しました。

この撤回により、町長は、予算科目を修正し、追加議案として予算案を再提出しました。

一般会計補正予算（追加議案）に対する質疑

質問

防災諸費の中の非常用備蓄食料費、約490万円、予算が減額されていますが、予定通り町内の公共施設に食料が配備されたのですか。

答弁（総務課長）

減額につきましては、請負差額です。備蓄食料につきましては、フードバーが9,000食、アルファ米が9,000食、及び水です。消費期限がありますが、順次訓練等で試食していただいで、試食した分について補充していきます。

質問

社会福祉総務費、国保会計繰入金、概算給付調整分7,000万円、今回の国保会計への繰り出しについて、この繰り出しは、年度末に精算して、国保会計から戻していただくことを前提に行うものと解釈しています。国保会計において戻す財源が25年度において措置できない場合は、当然、26年度において精算すべき性質のものであると考えます。この

繰り出しは、赤字補てんのための基準外のものでですか。

答弁（町長）

赤字補てんではありません。

質問

商工費の中に「フォーラム」負担金として、20万円が計上されていますが、内容の説明を求めます。

答弁（総務課長）

平成25年度、2月11日に和歌山ビッグホールで、「国内観光活性化フォーラムIN和歌山」が開催され、当町の負担金が20万円です。ビッグホール前にブースが設けられ、町村のPRを行うことができます。

平成24年度各会計の歳入歳出決算を認定しました。

9会計の認定については、議長及び議会選出の監査委員を除く9名を委員とする「決算審査特別委員会」を設置し、それに付託し、審査を行いました。

委員会では、町長をはじめ各課、室長、代表監査委員等へのヒアリングを含め5回開催し、委員会報告書を取りまとめました。

その後、本会議において委員会報告書にもとづき委員長報告を行い、平成24年度の各会計の決算については、すべて認定としました。

その他

◎国と関係機関に「近畿自動車道紀勢線の有田南紀田辺までの4車線化の早期実現を求める意見書」を提出しました。



一般質問

町長の施政方針について

藤本 良昭 議員

質問① 折り返し点に差しかかった日裏町長は、今後、日裏カラーを出す具体的な行動計画はどのようなものになりますか。

答弁 町長

常に「住民目線のみちづくり」をモットーに行政運営を心がけ、住民が安心して暮らせるよう、大規模災害時、対応できる施設の整備や、社会福祉事業に重点を置いて進めたい。

質問② 前町長から実施の若者定住施策は、継続されますか。

答弁 町長

この政策は、28年度までの5年間ですので、続けていきたい。

質問③ 町の均衡ある発展のため、中山間部に公共施設等建設の考えはありませんか。

答弁 町長

中山間部への公共施設等の建設は、今のところ考えていませんが、ダム完成後のダムサイトについては、道の駅等、有効な管理・活用を考えていきたい。

教育行政の方向性について、教育長に問う

質問①

全国学力・学習状況調査結果が公表されましたが、町内小中学校のランクはどの程度ですか。

全国学力・学習状況調査結果が公表されましたが、町内小中学校のランクはどの程度ですか。

答弁 教育長
総じて印南町の学力は「良好」とみています。また、学年が上がるに従って向上している傾向にあります。

質問② いじめ、不登校やスマートフォン依存症の実態はどうですか。

答弁 教育課長

いじめについては、町内で3件ありましたが、すでに解決済みで、不登校（30日以上欠席）については、1件です。スマートフォン依存症については、今のところ目立った兆候はみられませんが、教育関係の各種団体の場において、実態説明と予防啓発活動を増やしていきたい。

下水道使用料の値上げについて

質問① 3地区の代表者との話し合いの経過はどのような状況なのか。

答弁 生活環境課長

値上げ幅が大きいため、段階的にしてほしい等8項目の要望があり、スタート時の経緯もあることから、地元へ詳細について説明し、値上げ幅を検討し、3月議会



に議案を提出する予定です。

質問② 収入の確保も必要であるが、歳出の維持管理費の削減計画はないのですか。

答弁 生活環境課長

コストを抑える努力をしたい。



ここが聞きたい

岡本 庄三 議員

庁舎移転について 〜本気で住民のことを考えているのか!〜

質問① 庁舎建設プロジェクトチームが発足して1年近くが経過し、全力で取り組んできたようですが、進展がありません。

用地交渉が進んでいないようですが、現計画地と別の場所の検討する必要もあるのではないですか。用地交渉の限界をいつまでと考えていますか。

答弁 総務課副課長

出来るだけ早い時期に用地の確保をしたい。

質問② 現時点、考えられる建設までのロードマップを具体的に示す時期に来ていると思います。来年度15億円もの起債を予定しているということ

報告で、値上げについて

であるならば、当然、26年度当初予算へ事業費を計上する必要がありません。

来年度の予算編成方針も示されている訳ですが、現時点での計画がないということは建設できないということですか。

答弁 総務課副課長
用地確保の目的がつき次第、計上しますが、今は、その時期について示す段階ではありません。

農業集落排水事業について

質問 町長の3月の行政報告で、値上げについて

発言、その後、10月末に初めて3地区の農集の役員さんに話がありました。こんなことで、本当に4月に使用料を上げられるのですか。

25%上げるということについては、極めて積極的なものに対し、住民に対する説明は消極的です。会計赤字が現実的になつてから、使用料の値上げを判断するというのも選択肢にはないのですか。住民にたいする説明責任を持つていただきたいと思っています。

答弁 生活環境課長

3地区に出向いていき、説明したいと思いません。

税務課の休日開庁について



ではなく、住民の納税意識を大切にする理解が乏しいではありませんか。

質問 12月から来年3月まで第3日曜日に開庁されるようですが、確定申告の受付は出来ないということですが、「確定申告という所得税の申告をもって住民税の申告があつた旨とみなす」規定があります。

答弁 税務課長
試行することにより、徴収業務を含め、町民の利便性を図れるように対応していきたいと常々考えています。

町の重要な一般財源である住民税の申告に結びつく確定申告を受付けないというのは、現実的



一 般 質 問

今後の避難道路整備と避難方法について

中島 洋 議員

質問① 今後、災害弱者の高齢者や障害者の方が迅速に避難するためには、車を利用した避難も考えていく必要があると思いますが、行政の避難方法と対応はどうか。

答弁 総務課副課長

避難方法については、住民自ら避難のための対策を考え、自主防災組織としての取り組みの中で有効な避難に努め、地域住民の自助、共助による対応が重要だと考えます。

行政としては、車を利用した避難が必要な場合や状況もあると思うので、公助の立場から避難道路の整備や橋梁の耐震化等、住民が安全に避難できるようにハード整備に努めたい。

質問② 現在の避難道路の改良は徒歩による避難を前提に進められていると思いますが、今後の計画においても徒歩を基本に考えていくのですか。

答弁 総務課副課長

確かに徒歩での避難には限界があり、車を利用した避難も考える必要があると思います。今後も建設課と協議し改修等を検討していきたい。

避難の基本ということになるかと、徒歩での避難が基本であると認識してまいります。

質問③ 徒歩が基本と言われるの

は、分かっています。車が通れることを前提に道を広げておけば、家屋等が倒壊したときでも一人通れるスペースは残ると思います。地域や地権者の条件が整えば道路の拡張を考えてはいいかですか。

答弁 建設課長

災害弱者の高齢者や



地方地区避難道（印南小学校裏）



ていますか。

答弁 教育課長

ハード面では、国体時の駐車場となる若もの広場のフェンスとトイレの改修、子どもたちについては、身近でトップアスリートを見ることが、今後の体育やスポーツの振興につながると確信しています。

印南町のスポーツ振興について

障害者の方々に配慮をし、新設道については、幅員4mを基準に整備しています。十分、車で移動が可能です。地元との合意形成を図り、事業着手を目指したい。

質問 オリンピック、紀

の国わかやま国体が開催されるにあたり、印南町ではどのようなスポーツ振興施策を考え



ここが聞きたい

紀の国わかやま国体開催に向けて

井上 孝夫 議員

質問 現在、2015

年第70回国民体育大会の開催成功に向け、具体的な詰めの協議が重ねられ、平成26年8月にはリハーサル大会が開催されますが、国体開催への準備状況はどのようなになっていますか。

答弁 教育課長

自転車ロードレースについては、平成26年8月24日(日)にリハーサル大会を実施します。現在、その安全対策を含めた設計図、レイアウト図を作成中です。同時に和歌山県自転車連盟と協議を重ね、県、市町村、競技連盟、自衛隊と現地確認の詳細な打ち合わせ会議を行い、ゴルフ競技実施の課題等について協議を行っています。

質問 紀の国わかやま

国体開催による経済波及効果等の町益誘導についての考えをお聞きします。

答弁 教育課長

来町者の見込みは、26年自転車競技のりハーサル大会で約700人、国体本番では約800人、また、ゴルフ競技は3日間で延べ1,600人の見込みです。町益誘導については、国体開催時に来町者の駐車場等に使用する若もの広場のトイレ等の改修工事が現在行われています。また、自転車ロードレースのコース内にある清流中学校から清流小学校間の歩道整備が予定されています。

質問 国体開催成功に向けての決意をお伺いします。

答弁 教育課長

町民が一体となって英知と情熱を結集し、町民協働による大会、生涯スポーツの振興を図る大会、まちの魅力を発信する大会、心温まる大会となるよう取り組んでいきたいと考えています。

印南町公式ホームページの活用について

質問 印南町公式HP

に、自治体の情報公開の観点及び町行政の透明性や町政への参加の促進を図るために例規集の掲載は不可欠と考え

答弁 総務課長

今後、掲載に向けて検討して整理等していきたいと考えています。

ます。HPに例規集の掲載についての見解はいかがですか。



印南町例規集



一般質問

役場職員の超過勤務手当の調査状況は

榎本 一平 議員

質問① 9月議会の一般

質問で、役場職員の超過勤務手当について取り上げ、この質問に対し、町長、総務課長それぞれから「きちんと調査を行う」との答弁がありました。超過勤務に従事しながら、その手当が支給されていない実態があれば早急に改善されなければなりません。

答弁 総務課長

調査は行っています。年間を通じ、超過勤務の多い部署、そうでない部署を判断し、適正な人事につなげていきます。

具体的な調査を！

質問② 具体的な調査

が必要です。勤務時間が終了する5時15分以降に

押されたタイムカードと職員から課長に提出された超過勤務の申請書を対比する調査から始める必要がありますか。

答弁 総務課長

町長から各課長に対し。超過勤務の手続きの徹底を図りました。調査は、4月から年間を通じてのタイムカードに記入された時間を調査していきますので、3月末になります。

生活保護制度の変更が住民に及ぼす影響は

質問 昨夏、国会で生

活保護制度が改悪され、2013年の8月から3年間で最大10%、総額670億円の削減が決定し

ました。この制度変更で住民にどのような影響が出ますか。

答弁 住民福祉課長

60歳代、単身世帯で1.7%増え、50歳代で0.5〜0.7%下がります。世帯員が複数や母子世帯の減少率が約2%から8%と家族数が多いほど減少幅が大きくなると試算しています。

他の分野に影響を与える

質問 生活保護は住民

税が課税になるか非課税になるか、その基準が一致しており、生活保護基準の見直しは住民税非課税の基準も引き下がる事になります。国保税や介護保険、保育料など新た



な負担が住民に発生するかと考えますが、現状はいかがですか。

答弁 住民福祉課長

非課税の基準が引き下げられると、国保医療費の自己負担額の値上がりや介護保険料が第3段階の人の中で、保険料が上がる場合があります。国の動向に注視しながら対応を考えます。

質問 保育料や就学援

助制度への影響はどうですか。

答弁 教育課長

非課税世帯の保育料など値上げの影響が出ます。就学援助制度も保育料との同様に生活保護基準の見直しによる影響ができるだけ出ないように対応したい。





鳥獣害対策について

杉谷 考祥 議員



防護柵を設置しているところ

今後、柵等の設置要望にお答えできるように、補助事業などを活用し、対策を図っていききたいと考えています。また、有害鳥獣捕獲につきましても、引き続き、関係者のご協力を頂きなが

らより効果の上がるよう、対応していききたいと考えています。
質問 鳥獣被害の種類別の被害状況は、どのように推移されていますか。また、町内地区別では、どのように把握されていますか。
答弁 産業課長 被害金額については、正確に把握できておりませんが、一番大きく被害を受けているのは、シカと現在認識しております。地区別につきましては、農作物の被害の大きい海岸線及び切目川周辺が、一番被害が大きいと認識しています。
今後の対策ですが、引き続き環境整備面、捕獲についてのハード面の整備

質問 町内の鳥獣被害及びその捕獲状況についてお尋ねします。また、今後の被害対策についての方向性をお伺いします。

答弁 産業課長 町内の鳥獣被害については、農業者及び猟友会の皆様のご協力により、メッシュ柵や電気柵の設置、また、捕獲等により大きな被害は防げていると認識しております。

質問 鳥獣被害の種類別の被害状況は、どのように推移されていますか。また、町内地区別では、どのように把握されていますか。

ですが、補助事業を活用しての檻^{おろ}60基と、民間における檻100基、合わせて160基程度の檻により、捕獲体制はほぼ整備できたと思います。

防護柵につきましては、引き続きワイヤーメッシュ等を設置し、補助事業を活用して対策を図っていききたい。しかしながら、サルとシカの被害対策については、大変苦慮しています。

質問 捕獲した鳥獣はその後、食用に回されて

いる分はいいとして、その他の鳥獣の処分についての見解はいかがですか。

答弁 産業課長 食肉処理を行っていたので、その後については、一般廃棄物になりますので、このことが今後の課題かと思えます。これを清掃センターへ持ち込めるよう、清掃センターと協議をしているところです。

委員会活動報告

文教厚生常任委員会 報告

2015年に開催予定の第70回国民体育大会の実施競技である自転車競技（ロードレース）とゴルフ競技の会場に、印南町が選定されています。

11月8日（金）、教育委員会より、会場地として、印南町が選定されてから現在に至るまでの開催準備の経過について、説明を受け、質疑を行いました。

Q 大会に向けて組織編制については？

A 実行委員会、常任委員会、専門委員会（総務企画・競技式典・宿泊・輸送）から組織しています。

Q 印南町の人口規模から人員確保の点で自

転車競技・ゴルフ競技と2つの競技はオーバーワークになっていないのか？

A 県において各市町村で何か競技を実施するルールです。大変であるが、一丸となつて取り組むことに意義があると考えています。

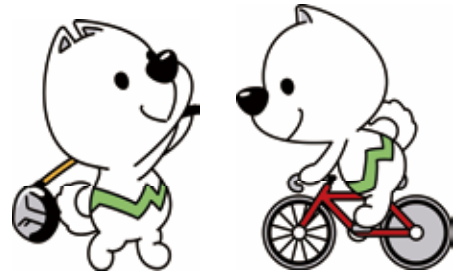
Q 他町では、ボランティアの確保をすでに実施しているの
で、積極的なボランティアの確保が重要
では？

A 今後、立哨員りっしょういん等のボランティアを募集していきます。

Q 国体開催はビッグイベントであり、先ず町職員が一丸となつて取り組むことが重要では？

※立哨員…コース上の各ポイントに配置し、コース内及び沿道における安全確保等を行う人

A 今までは、競技内容の詳細がまとまっていなかったため、会議・説明会が積極的
に開けてなかった
が、今後、庁内の職員にも説明会を実施
していきたい。



（委員長所見）

紀の国わかやま国体の開催成功に向け、平成26年8月には、リハーサル大会が開催予定であり、国体のムードが高まっていくことと思います。

昭和46年の黒潮国体から数えて4年ぶりの開催となり、大会のスローガンである「躍動と歓喜、そして絆」が生まれると共に、印南の未来ある子どもたちが参画し、人生の思い出に深く残る大会の成功を切に願います。

国体は県民総参加のビッグイベントであり、成功に向け、大会実行委員会をはじめとする関係各位のご尽力を賜りますようお願い致します。

総務産建常任委員会 報告

10月24日(木)、切目川ダム、切目川河川改修、国道425号改修事業について町建設課及び県日高振興局建設部担当者より説明を受けるとともに現場を視察しました。

2級河川切目川水系河川整備計画

・切目川ダム建設事業

平成26年度の完成に向け、順調に事業は進捗しており、平成25年度当初予算は、約19億円が確保されています。整備の目的は、「洪水氾濫の防止」、「安定した水量の維持」、「生活用水の確保」等で、地域住民の暮らしをまもる多目的ダムとなるものです。

事業期間 平成3年度～26年度
平成25年度当初予算約19億円

・切目川河川改修事業

ダム建設にあわせ、切目川の安定した川の流れを維持するため、河川整備計画に基づき、現在、河口から6.5kmの区間が計画的に整備されています。

平成25年度においては、災害関連事業もあわせて実施されているところです。

今後は、共栄橋から羽六橋区間の事業化が課題となっています。

総合流域防災事業

平成25年度当初予算約2億6千万円
災害関連事業
平成25年度当初予算約6億3千万円

国道425号道路改良事業

・切目川バイパス(上洞ノ田ノ垣内 3.62km)

事業期間 平成14年度～25年度
平成25年度当初予算2億円

・美里工区

事業期間 平成23年度～25年度
平成25年度当初予算1千万円

・川又工区(川又上洞 2.8km)

事業期間 平成24年度～29年度(予定)
平成25年度当初予算2億円



(委員長所見)

河川改修事業及びダム建設事業は、「切目川水系河川整備計画」に基づき県営事業により実施されています。

ダム建設は、平成26年度の完成予定で流水の安定や防災等の効果が期待されています。

河川改修については、現在、計画的に実施されていますが、羽六橋から上流の事業化が今後の大きな課題であり、県に対し、強く要望していかねければなりません。

これらの事業は、湧水対策だけでなく、生活水確保、災害対策等、町にとって重要な事業のため、早期完工を期待します。

「よちよち会」切目地区子育てクラブ活動



あけぼのふれあいセンターにて

よちよち会は、1993年、印南町切目地区のお母さん方によって、未就園児と親が気軽に集まり子育ての情報交換をする場所として発足しました。

今日まで20年間、その年その年のお母さん方によって途切れることなく、活動は続けられています。

会員は、10名程度で、毎月第1、第2、第4水曜日の午前10時半〜12時まで、あけぼのふれあいセンターにて、活動しています。

活動内容は、第1水曜日は、町の家庭教育支援員の方々による子育てについての講座や子育てについての悩み相談会。

第2水曜日は、お母さん方が主体になって行う自主活動。第4水曜日は、家庭教育支援員の方々による読み聞かせと手遊びを行っています。

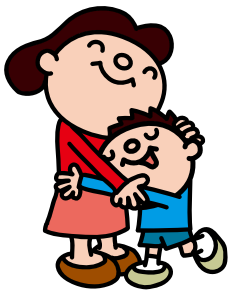
特に自主活動は、準備すべてをお母さん方が行

い、プール遊びやクッキング、クリスマス会など季節の行事を織り交ぜながら、子どもも親も楽しめる活動をしています。

最近では、印南町内だけでなく、町外の参加者も増え、初めて来た親子でも続けてもらえるようなアットホームな温かい雰囲気作りを会員全員で心がけています。サークル内では、自分の子どもだけではなく、他の子どもの成長もみんなと一緒に見守れるようなサークルにしていきたいと思っています。

少しでも興味のある方は、お気軽にお越しください。

代表 村上好子



あとがき

あけましておめでとうございます。穏やかな午年の幕開けでございます。

「いいね！」って言うだけでいいような広報に努めたいと思っています。本年もよろしく願い致します。

議会での各議員の発言は、町HPの議会から入っていただきますと、「会議録の検索」がございますので、ご閲覧下さい。

メールアドレス

gikai@town.wakayama-inami.lg.jp

議会広報特別委員会

委員長	岡本 庄三
副委員長	榎本 一平
委員	中島 利洋
	藤越 誠八
	村上 憲男
	前田 憲男

